

令和7年度

大崎麦作情報 第3号

令和7年3月24日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

TEL 0229-91-0726 FAX 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～今後の管理のポイント～

- 越冬後の麦踏みをまだ行っていない場合は茎立前までに実施しましょう。
- 明渠や暗渠の通水を確認し、排水対策を徹底しましょう。
- 収量・品質向上のため生育ステージ・生育量に応じた追肥をしましょう。
- 雑草の発生状況を確認し、茎葉処理剤の散布を行いましょう。

1 気象経過

- 気温は平年値と比べ、12月第4・5半旬、2月第2、4半旬は低温、1月第3～6半旬、2月第6～3月第3半旬は高温と周期的に変化しました。
- 日照時間は高温期に多照、2月第2半旬は少照、全体的には平年並でした。
- 低温期を中心に降雪があり、2月第1～第4半旬にかけては根雪となりました。

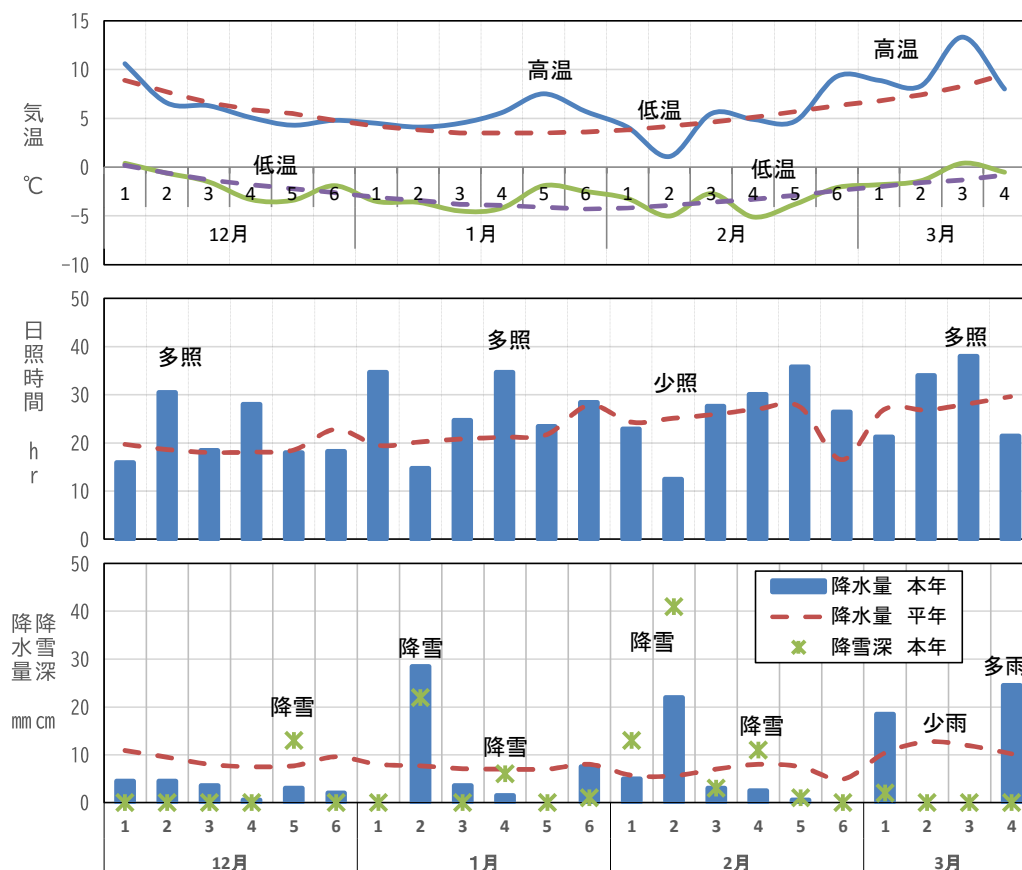


図1 12月第1半旬から3月第4半旬までの気象経過（古川アメダス）

※ 実線又は棒グラフが本年度、点線は平年値

2 生育状況(3月20日現在)

(1)小麦「シラネコムギ」の生育状況

- 3月19日の調査では、草丈は12.4 cm(平年比93%)、茎数は1222本/㎡(平年比128%)と前年より少ないものの平年を上回っています。年内生育量は大きかったものの、周期的な低温と根雪により生育が抑制されたと考えられます。
- 生育ステージは、幼穂長1.3 mm(平年差+0.2mm)と幼穂形成始期に達しています。
- 一部ほ場では降雨が枕地等に停滞している状況も見受けられました。

表1 生育調査結果

地区名 品種名	前作	比較	播種日	2/10					3/20				
				草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	幼穂長 (mm)	葉色 (GM値)	生育量 指数※	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	幼穂長 (mm)	葉色 (GM値)	生育量 指数※
古川 シラネ コムギ	移植水稻	本年	10/19	10.2	1395	0.47	45.0	63.6	12.4	1222	1.3	48.2	72.7
		前年差・比	-1	69%	91%	+0.06	-	-	64%	73%	-0.6	-	-
		平年差・比	-5	89%	199%	+0.26	-	-	93%	128%	+0.2	-	-
	乾田直播 水稻	本年	10/22	10.9	1084	0.40	44.2	52.2	13.9	920	1.4	38.9	49.7
	子実とう もろこし	本年	10/22	11.7	987	0.43	45.6	52.5	14.8	821	1.3	41.8	50.6

※1 平年差(比)は、過去5か年(令和2年～令和6年産)の平均値との比較

※ 生育指標は cm 草丈×茎数/㎡×葉色値(×万)で幼穂形成期(幼穂長2～3mm)目安は86万。

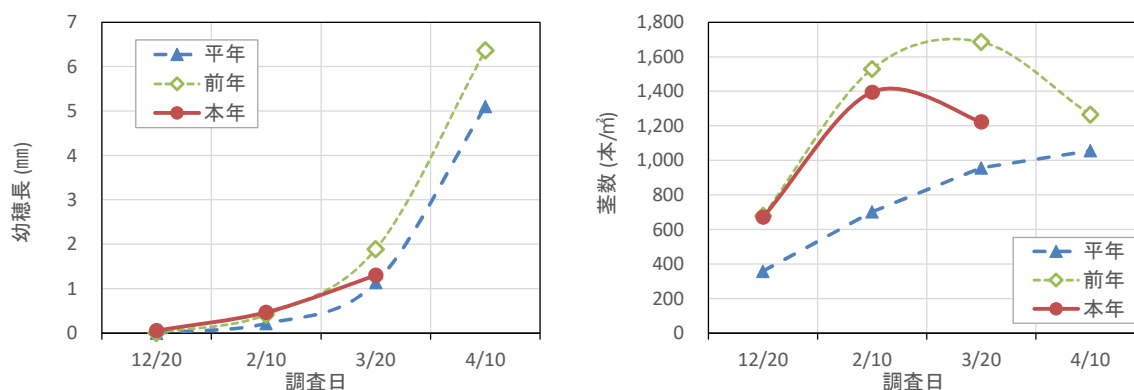


図2 幼穂長と茎数の推移

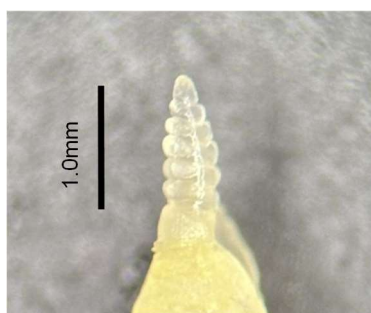


写真1 幼穂



写真2 生育状況



写真3 ほ場全景

3 今後の生育ステージの見通し

- 幼穂長と気温（2週間予測値＋平年値）から予測される今後の生育ステージは、減数分裂期は平年より3日早く出穂期が平年より6日早くなる見込みです（表2）。

表2 「シラネコムギ」幼穂長による生育ステージ予測

地区名 品種名	前作	比較	播種日	3/20 幼穂長 (mm)	減数 分裂期	出穂期	開花期
古川 シラネ コムギ	移植水稻	本年	10/19	1.3	4/21	5/2	5/13
		前年差	-1	-0.6	+2	±0	+3
		平年差	-5	+0.2	-3	-6	-4
	乾田直播水稻	本年	10/22	1.4	4/20	5/1	5/13
	子実とうもろこし	本年	10/22	1.3	4/21	5/2	5/13

※1 平年差は、過去5か年（令和2年～令和6年産）の平均値との比較

※2 普及に移す技術第91号（麦類の生育ステージ予測シート）をもとに予測

4 今後の管理

(1) 麦踏み

麦踏みの晩限は茎立期（主稈長2cm、幼穂長2mm程度）です。越冬後の麦踏みをまだ実施していない場合には、土壌が乾いたタイミングを逃さず実施しましょう。

(2) 排水対策

麦は湿害に弱い作物です。節間伸長期の湿害は、弱小分げつの枯死や穂数の減少につながります。ほ場に水を停滞させないように排水対策を徹底しましょう。

- 明きょ…手直し、管理機等で溝を作り、排水口まで繋げましょう。
前作水稻ほ場では、稲わら等が排水口に詰まっていないか確認しましょう。
- 暗きょ…栓が閉じられていないか再確認しましょう。

(3) 追肥

収量・品質向上のためには追肥が必要です。各生育ステージの生育量の目安に達していないほ場では、早めに追肥の実施を検討してください。

表3 「シラネコムギ」追肥判断の目安となる生育量と追肥量の目安

追肥の時期	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30～50mm)	穂揃期 (8～9割出穂)
目的	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	子実タンパク質含有率 の向上
追肥時期	3月下旬～4月上旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
生育指標目安	86万	155万	142万～153万
葉色(GM値)目安	45	37	40
草丈cm×莖数/㎡目安	19.1千	41.9千	35.5千～38.3千
莖数/㎡目安※	1450本/㎡	1190本/㎡	-
N成分量(kg/10a)	2.5	2.5～5	2.5

※莖数の目安は生育調査ほ場の各時期草丈の平年値を基に試算したものの。

(4) 雑草防除(茎葉処理剤)

雑草は光合成の競合、病害虫の誘発、種子混入等により収量・品質に影響します。雑草の発生状況と麦の生育状況を確認し、早めの防除を心がけましょう。

表4 茎葉処理剤一覧

除草剤名	対象	使用時期	使用量 (散布液量)	本剤 使用回数
ハーモニーDF	スズメノテッポウ	は種後～節間伸長前	5～10g/10a (通常散布50～100L/10a)	1回
	一年生広葉雑草	は種後～節間伸長前	5～10g/10a (通常散布50～100L/10a)	
	カズノコグサ	麦1葉期～節間伸長前	10g/10a (通常散布50～100L/10a)	
	一年生広葉雑草	節間伸長開始期～穂ばらみ期 (ただし収穫45日前まで)	3～10g/10a (通常散布50～100L/10a)	
	ギシギシ類	幼穂形成期 (ただし収穫45日前まで)	3～5g/10a (通常散布50～100L/10a)	
MCP ソーダ塩	一年生及び多年生広葉雑草	幼穂形成期 (ただし収穫45日前まで)	200～300g/10a (70～100L/10a)	1回
アクチノールB 乳剤	一年生広葉雑草	穂ばらみ期まで(雑草生育初期)	100～200mL/10a (70～100L/10a)	2回以内
エコパート フロアブル	一年生広葉雑草	小麦節間伸長開始期まで (雑草生育期) (ただし収穫45日前まで)	50～100mL/10a (100L/10a)	2回以内

※農薬の登録情報(令和7年3月21日現在)

1 か月予報 (3月22日から4月21日) 令和7年3月22日 仙台管区气象台発表 抜粋

<予想される向こう1か月の天候(東北太平洋側)>

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) (東北太平洋側)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	高い	20	30	50
【降水量】	ほぼ平年並	30	30	40
【日照時間】	ほぼ平年並	40	30	30

<気温経過の各階級の確率(%) (東北太平洋側)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	高い	10	10	80
2 週 目	ほぼ平年並	10	30	60
3～4 週目	ほぼ平年並	20	30	50

◆◆◆◆◆◆◆◆農作業安全確認運動(3月1日～6月30日)◆◆◆◆◆◆◆◆

近年、様々な農業機械の普及、農業従事者の高齢化等により、機械操作のミス、過信と慣れによる安易な作業が重大事故に結びつき、依然として農作業死亡事故が発生しています。安全フレーム・キャブ付きトラクターの使用や、シートベルト、ヘルメットの着用を徹底し、農作業安全に努めましょう。

令和7年スローガン 「徹底しよう! 農業機械の転落・転倒対策」

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

